二〇二四年度　A日程　国語　問題用紙（Ⅰ）

関西学院中学部（二〇二四、一、一三）

一、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

※　学校内外ではマスクをつけて生活するようにと強制されている中で、男子五人【ユウ（ぼく）、トモノリ、リョウタ、シンちゃん、アツシ】の内、アツシ以外の四人は体育館の裏で、こっそりマスクをはずすことを始める。学校内で、マスクをはずす解放感とスリルを楽しむユウたちであったが、それに加わろうとしないアツシにいらだちを感じたトモノリたちはアツシを無視し始める。「何か事情があるのでは」と考えたユウがアツシにその理由をたずねると、アツシは涙目で「おばあちゃんが死んだら……おれのせいになっちゃうから」と答えた。

（重松清『おくることば』「反抗期」）

問一　――a～hの部分を漢字に直しなさい（送り仮名が必要なものはそれも書くこと）。

問二　（　A　）～（　F　）に入る最も適当なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい（同じ記号は二度以上使いません）。

ア　いつも　イ　かなり　ウ　ずっと　エ　しだいに　オ　チラッと　カ　ぼうっと

問三　――1、それはなぜですか。①おばあちゃんに関することは三つにまとめて、②アツシやアツシのお母さんに関することは二つにまとめて、それぞれできるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問四　――2、①なぜぼくは「まあ、いいか」と思ったのですか。②どういうことに気づいたから、ぼくはすぐ「違う」と思い直したのですか。

問五　――3、おばあちゃんに対する「優しさ」とは別に、アツシのぼくたちに対する「優しさ」はどういうことからわかりますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問六　――4、なぜ「泣きそう」になったのですか。その理由の一つとして考えられることを文中から三十五字ぬき出して次の文を完成させなさい。

事情も知らずに、（　　）したことを申しわけなく、情けなく思ったから。

二、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

（高階秀爾『日本人にとって美とは何か』）

注1「古池や蛙飛びこむ水の音」＝江戸時代の俳人松尾芭蕉の俳句。なお、「蛙」はカエルのこと。

注2「春は曙」＝現代語に直すと「春は夜が明けようとする頃が美しい……」。『枕草子』は平安時代の清少納言の作品。

注3　広重＝歌川（安藤）広重、江戸時代の画家。　**注4**　揃物＝いくつかが揃って、あるひとつのまとまりになるもの。

問一　――― a～jの部分を漢字に直しなさい（送り仮名が必要なものはそれも書くこと）。

問二　（　A　）～（　E　）に入る最も適当なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい（同じ記号は二度以上使いません）。

ア　だが　イ　つまり　ウ　あるいは　エ　なぜなら　オ　というわけで　カ　いずれにしても

問三　［ア］～［ウ］に入る最も適当なことばを文中からそれぞれ三字ぬき出して答えなさい。

問四　――― 1、「それ」の指し示す内容をできるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問五　――2、なぜアメリカ人と日本人の答えにはこのような違いが出るのですか。次の（　ア　）、（　イ　）に入ることばをそれぞれ文中から四字ぬき出して答えなさい。

アメリカ人は美を（　ア　）として捉えるのに対して、日本人は（　イ　）として捉えるから。

問六　――3、「客観的な原理に基づく秩序」の例として筆者は三つのことを挙げています。その三つを文中からぬき出して答えなさい。

問七　――4、これは日本人がどのような態度で「美」を見出してきたからだと筆者は考えていますか。その理由が書かれている一文の、はじめと終わりの五字をぬき出しなさい。

問八　――5、筆者は日本の美の説明に、広重が描き出した《名所江戸百景》の中の「雪晴れの日本橋」「花の飛鳥山」を例として挙げていますが、この①《名所江戸百景》、②「雪晴れの日本橋」「花の飛鳥山」は、現代に置きかえると何に当たると言っていますか。それぞれ文中からぬき出して答えなさい。

問九　――6、「そのように分類した」のは誰ですか。

問十　――7、どのようなものが「代表的なモニュメント」となっているのですか。文中から五字ぬき出して答えなさい。

三、（　　）に動物の名前を入れて、慣用句を完成させなさい（平仮名でもよい）。

《意味》

①非常にいそがしいこと。
②意気投合すること。
③誰も相手にしないこと。
④周囲を取り囲まれて、にげられないこと。
⑤突然のことに驚いて、目を丸くしているさま。
⑥物事をよく考えずに、そのまま受け入れること。

《慣用句》

（　　）の手も借りたい
（　　）が合う
（　　）も食わない
袋の（　　）
（　　）に豆鉄砲
（　　）呑みにする

二〇二四年度　国語　解答用紙　A日程

受験番号	

関西学院中学部　二〇二四、一、一三

※この用紙には受験番号と解答以外は一切(いっさい)書いてはいけません。　※句読点やその他の記号も一字と数えます。

一

問一　a　b　c　d　e　f　g　h

問二　A　B　C　D　E　F

問三　①　②

問四　①　②

問五

問六

二

問一　a　b　c　d　e　f　g　h　i　j

問二　A　B　C　D　E

問三　ア　イ　ウ

問四

問五　ア　イ

問六

問七　はじめ　終わり

問八　①　②

問九

問十

三

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）　⑤（　　）　⑥（　　）